

マンション自主防災対策本部発

NO.5



2014年3月15日発行

3.11東日本大震災を教訓に...

首都直下型地震など、大きな災害が発生する確率が高くなっています。

東日本大震災では様々な経験をしました。大きな災害が発生した際に、パニックにならないように、全くの想定外ということにしない取り組みが日頃から重要です。

大きな災害時には、電気や水が使えない、通信ができない=連絡がとれない、必要なものが買えないなどが想定されます。こうした際に対応できる準備をすすめておきましょう。

津波は来なくても、火事の発生は考えられます。火事を起こさないだけでなく、起きた際の協力した取り組みも重要です。マンションは個々人の取り組みだけでは守れないこともあるのです。

お年寄りや一人暮らしの方など、常日頃からのおつきあいも心がけましょう。

3～4月は、各家庭で下記の取り組みを共通して取り組みましょう。

- ☑ 本棚や食器棚などが倒れないよう工夫をしましょう。天井突っ張り棒や転倒防止金具などを利用します。また、重い物を上側ではなく、できるだけ下側に収納します。さらに、落ちると危険なものは高いところに置かないようにします。
 - ☑ 同時に、棚にあるものが落ちない工夫もしましょう。滑り止めシートの利用はおすすめです。

ホームページ、引っ越ししました。

新しいURLは
lions2.rdy.jp

